

知恵と工夫で未来明るく

全文連 定時社員総会開く 講演会や交流懇談会も

一般社団法人全日本文具事務用品団体総連合（宮城邦弘会長）は、10月23日、東京・中央区のロイヤルパークホテルで第20回定時社員総会を開催した。



宮城会長が「コロナが5類に移行して間もない中、大きな動きもなく、今年度も総会終了後は講演会を開催する。業界初の無人店舗の運営にチャレンジされてる東京・虎ノ門のオカモトヤ・鈴木社長に経緯や現状について講演をいただく」と挨拶。



上程諸議案を審議する全文連総会

第4号議案の同年度会計収支予算案、第5号議案の定款変更の件を上程、いずれも原案通り承認可決した。会員の現況は茨城県文具事務用品組合の退会により28団体、会員数は前年比17社減の879社（令和4年度末）。サポート会は1社



（宮城の西巻が加入）増えて9社となった。

新年度の事業活動は①B C P用品並びに防災用品管理ソフト「きげんくん」のバージョンアップ②「きげんくん」を活用した販売店活性化事業の推進③販売管理ソフト「全文くん」の普及と啓蒙④「のほり」の継続販売⑤「文具業界団体名簿」の発行⑥日本文財財団

第10回あいち文具屋大賞を報告

名古屋文具事務用品協同組合（住田宏理事）と愛知県文具事務用品団体連合会（同）は、全文連総会の席上、第10回文具のフロが選ぶ「あいち文具屋大賞」の活動を報告した。

組合では、組合店に文具のフロの視点で、「お客様に自信をもって推薦したい文具」「日常使っていて気に入っている文具」を投票してもらい、「あいち文具屋大賞」ノミネート商品全43点を選出。投票結果は5月の名古屋文協総会で発表、受賞メーカーの表彰も行っている。

「あいち文具屋大賞（各部門のベスト3）を掲載したカラー刷りチラシ（裏面は申し込み用紙）は組合員各店の営業ツールとして活用されている。商品情報にはスマートフォンで読み取れるQRコードを記載。『あいち文具屋大賞』（1書・消費ツール部門）

パイロット「フリクションゾーン」オフィス便利グッズ部門「コクヨ」「ドットライナーフリック」ホーム便利グッズ部門「シャチハタ」「回転コレクションスタンプ」SDGs部門「三菱鉛筆」「海洋プラスチックストリーム」

も着手する予定。定款変更の件では、神奈川県文具事務用品団体連合会が横浜市磯子区洋光台6-20-16（株式会社八雲堂内）、富山県文具事務用品組合が富山市八町9-11（株式会社瀬戸内）へと変更になる。

議事終了後、住田宏副会長の閉会の辞で総会を終了。小憩後、別項のように講演会が行われた。

リクrafイーを使った席次や案内状制作を受けてから、カリグラフィーのペンとレターオリジナルセッの販売、カリグラフィー教室の開講、オリジナルインクの制作などを手掛けているという。知恵と工夫をすれば未来は明るいと思う。消耗品はテレワークもあり100%戻ってきていないが、インバウンド需要は戻りつつある。皆さんと共にアイデアや知恵を共有しながら元気に生き残りをかけて頑張っていきたい」と挨拶。

富士封筒 フジックス株式会社 <http://www.fujix-kk.com>

続いて、全文協・石川真一会長が「コンビニの社長によると、売上げが上がった日は、20年前は1位が給料日、2位が年金支給日、3位が生活保護支給日だったが、2007年になると1位が年金支給日、2位が給料日へと順位が入り替わった。2013年には1位が年金支給日、2位が生活保護支給日、3位が給料日の順となった。正に高齢化の実態を反映している。人口減によって全体の需要が減り、65歳以上の人口が

さんと一緒にやって業界全体を良い方向へ変えていきたい」と挨拶。このあと、日本文紙事務器卸業連盟・部総志会長が「過去の商習慣にとらわれず、時代の変化に適応していきたい」と乾杯挨拶して開宴、和やかに歓談しながら懇親を深めた。

文具店初の無人営業

オカモトヤ 鈴木美樹子社長が講演

講演では、文具店初の無人化営業にチャレンジする株式会社オカモトヤ・鈴木美樹子社長が「文具専門店の存在価値を求めて」と題して講演を行った。



講演する鈴木社長



オカモトヤ虎ノ門店

は220万円、ランニングコストは月16万円、売上目標は520万円を設定している。

文具店が店舗DXに取り組む背景と目的について、「店舗減少を経たからこそ専門店のニーズはある」「デ

は『働くと』のミカタ』をハラスに掲げて取り組んでいることや、自店の変遷はじめ移動文具販売のYANGU号はじめとする文具を通しての多様な取り組み

は『働くと』のミカタ』をハラスに掲げて取り組んでいることや、自店の変遷はじめ移動文具販売のYANGU号はじめとする文具を通しての多様な取り組み

は『働くと』のミカタ』をハラスに掲げて取り組んでいることや、自店の変遷はじめ移動文具販売のYANGU号はじめとする文具を通しての多様な取り組み

は『働くと』のミカタ』をハラスに掲げて取り組んでいることや、自店の変遷はじめ移動文具販売のYANGU号はじめとする文具を通しての多様な取り組み

は『働くと』のミカタ』をハラスに掲げて取り組んでいることや、自店の変遷はじめ移動文具販売のYANGU号はじめとする文具を通しての多様な取り組み

は『働くと』のミカタ』をハラスに掲げて取り組んでいることや、自店の変遷はじめ移動文具販売のYANGU号はじめとする文具を通しての多様な取り組み

は『働くと』のミカタ』をハラスに掲げて取り組んでいることや、自店の変遷はじめ移動文具販売のYANGU号はじめとする文具を通しての多様な取り組み

uni-ball one P

MITSUBISHI PENCIL CO., LTD.